

足場作業へ注意喚起

イチケンの長谷川社長
札幌市内で現場パト

イチケンの長谷川博之社長は2日、札幌市中央区で建設が進むホテル建設現場で安全パトロールを行った。写真。施工状況や安全対策を点検した長谷川社長は、特に足場の設置状況を念入りに確認し、重大災害につながる墜落・転落防止への注意を喚起した。

パトロールを行ったのは同社が施工を担当する「アパホテル札幌大通駅前西」建替工事」の現場。建物はS造14階建て延べ3581平方メートル規模で、客室数218室のホテルを建設する。工期は12月10日まで。

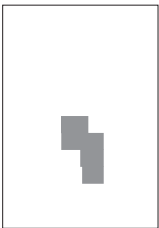
朝礼に参加した長谷川社



長は「現場の状況は日々変化する。協力会社間で積極的に声を掛け合うなどコミュニケーションを積極的に心掛け、無事故・無災害での竣工を目指してほしい」と呼び掛けた。

豊島昭義上席執行役員札幌支店長は「危険感受性を高めるとともに、作業手順書を基に具体的なKY活動を行い不安全行動の排除に

努めてほしい」と訴えた。引き続き長谷川社長は、志賀真所長の案内で現場内を視察し、作業員に声を掛けながら安全設備などを確認。視察後には「隙間の状況などもう一度足場の点検を行い、重大災害につながる墜落・転落には特に注意し気を引き締めてほしい」と注意を促した。





イチケン長谷川社長が安全パトロール 足場の整理整頓を

ホテル パ 札幌大通駅前西建替

イチケンの長谷川博之社長は2日、札幌市内で同社が施工する「アパホテル札幌大通駅前西建替工事」の現場で、安全パトロールを行った。写真。

同工事はアパが計画する2

18室のホテルで施設規模がS造地下1階地上14階建て延べ3361平方メートルの現場となる。工事は最盛期を迎えており、長谷川社長は志賀真所長らとともに工事が進む現場の安全衛生対策などを巡視し

た。パトロール後、長谷川社長は「避難バルコニーの足場のすき間や足場に資材の散乱が見受けられる。墜落・転落にもつながるもので重大災害を防ぐためにも気を引き締めてほしい。今後、外壁のタイル張りなどの工事が残っているが、引き続き無事故・無災害で取り組んでほしい」と述べ、災害防止に向けて注意喚起した。

志賀所長は「アパホテルは札幌で1棟目となるが、建築主の期待に応えられるよう協力業者とともに取り組んでいきたい」と話した。

設計・監理は日建社が担当している。2024年8月8日に着工し、工期は25年12月10日まで。現在の工事進捗（しんちよく）率は48%で、工事は順調に進んでいる。所在地は同市中央区南1条西9-15-1。

